

THE KOBEC CO '91 8

AUGUST No.364

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1991年8月1日印刷 通巻364号
1991年8月1日発行 毎月1回1日発行



●30周年記念小磯良平
名作シリーズⅥ

BENIYAから、ファッションエクスプレス。
この秋、きっとヒロインの予感。



■西神ブレンティ店
トレンドをほどよく彩って、おしゃれなカジュアル・メッセージ。

■エルベ店
小粋で知的な女性のためのスポーティ
エレガンスショップ。



■イヴ・サンローラン店
優美に、そして知的に。香りたつ、パリ・永遠の
エレガンス。

三宮センター街



■ウイング店
キュートで活動的な女性のための
アクティブエレガンスショップ。



■本店
ベーシックな prestige を求める
女性のためのエレガンスショップ。



■BG店
ECタイプの上品でかわいらしい
女性のためのタウンフォーマルショップ。



■さんちか店
神がらしいベーシックを大切にしたタウン
フォーマルショップ。

三宮本通



■スポーツ店
スポーティブ・エレガンスを提案する、ニュー・コンセプトショップ。

生田ロード

 **BENIYA**
KOBE OSAKA TOKYO

K O B E ● 本店 ● エルベ店 ● ベージュ店 ● ウイング店 ● さんちか店
● スポルト店 ● イヴ・サンローラン店 ● 西神ブレンティ店
O S A K A ● 三番街店 ● ナビオ店 ● ミナミ店 ● 近鉄店
T O K Y O ● 銀座店 ● 自由ヶ丘店 ● 日比谷店

暑中お見舞い申し上げます

1991年 夏



いよいよ、本当に不動産が、活かされなければならない時となりました。様々な業界において、整理整頓の時代の到来です。

LICは、全身全霊を傾け、お客様方の苦難、喜びの相談相手に徹して、生きていきたいと願っております。



エルアイシーは不動産を芸術で考える会社です。

商業不動産事業計画コンサルタント

株式会社 エルアイシー

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1 ボートアイランド国際交流会館8F TEL. 078-302-4009(F) FAX. 078-302-1320



株式会社エルアイシー
代表取締役社長

青木 幸夫

ARABBA
TAVERNA DEL

LA CUCINA ITALIANA RISTORANTE

COLLEONI

BERGAMO. ALTA PIAZZA VECCHIA ITALIA

L'osale in gemellaggio

Berghem
RISTORANTE BERGHEM
KOBÉ KITANO

本場ベルガモの“コッレオーニ”からやって来た5人のシェフが料理場とホールでいきいきと。カンツォーネを唄いながら日本のシェフ達のこの腕でこの味とサービスを……。



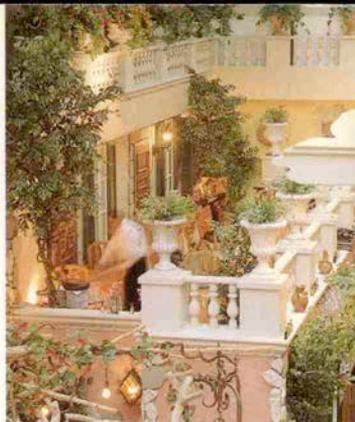
ゆったりした空間に、落ち着いたインテリア。デートにも、ビジネスにも、パーティーにも、リーズナブルな値段でコーディネート出来るのが嬉しい。



神戸北野町のイタリアンレストラン“ベルゲン”が、1990年1月31日に、北イタリアのベルガモ市にある“タベルナ・デル・コッレオーニ”と姉妹店になりました。

この由緒あるレストランと両店の協力のもとに、東京赤坂ツインタワービルB1に、200坪のスケールで“タベルナ・デル・コッレオーニ”がオープンいたしました。

オーナーシェフYOSHIO YASUDAのインテリアデザインは、ベルガモやローマの街やタブラオの匂いが漂う凝った造作で、暖かで、気楽な雰囲気の中で、イタリア人のシェフやカメラエレが、カンツォーネを鼻歌に運ぶパスタ料理や、イタリア各地の郷土料理でワインを味わうと心は陽気になり、豊かになり、明日へのエネルギーが湧いて来ます。東京へお出かけのときは、ぜひお立ち寄りになって、イタリアの醍醐味をお楽しみ下さい。



煉瓦と石造り。イタリアの雲田気漂う200坪のレストラン。ランチタイムにも夜も、コーナーごとにいろんな顔と味が。

イタリアの田舎風のリラックスした雲田気のなかでディナーを。



AKASAKA 《TAVERNA DEL COLLEONI》 E KOBE 《BERGHEM》



フォロロマーノの遺跡を思わせる空間で
イタリア料理とワインを楽しむ



赤坂ツインタワービルの1F正面に入ってエスカレーターを降りると“コッレオーニ”の別世界。

北イタリア料理

■ベルゲン北野店

神戸市中央区山本通2-3-2

TEL (078)241-6952

FAX (078)261-2492

イタリア料理

■タベルナ アル コッレオーニ・赤坂ツインタワーB1

東京都港区赤坂2-17-22

TEL (03)3584-6250

FAX (03)3584-6254

FASCINATION DU VOYAGE.



 KINOSHITA
PEARL
CO.LTD.

株式会社木下真珠

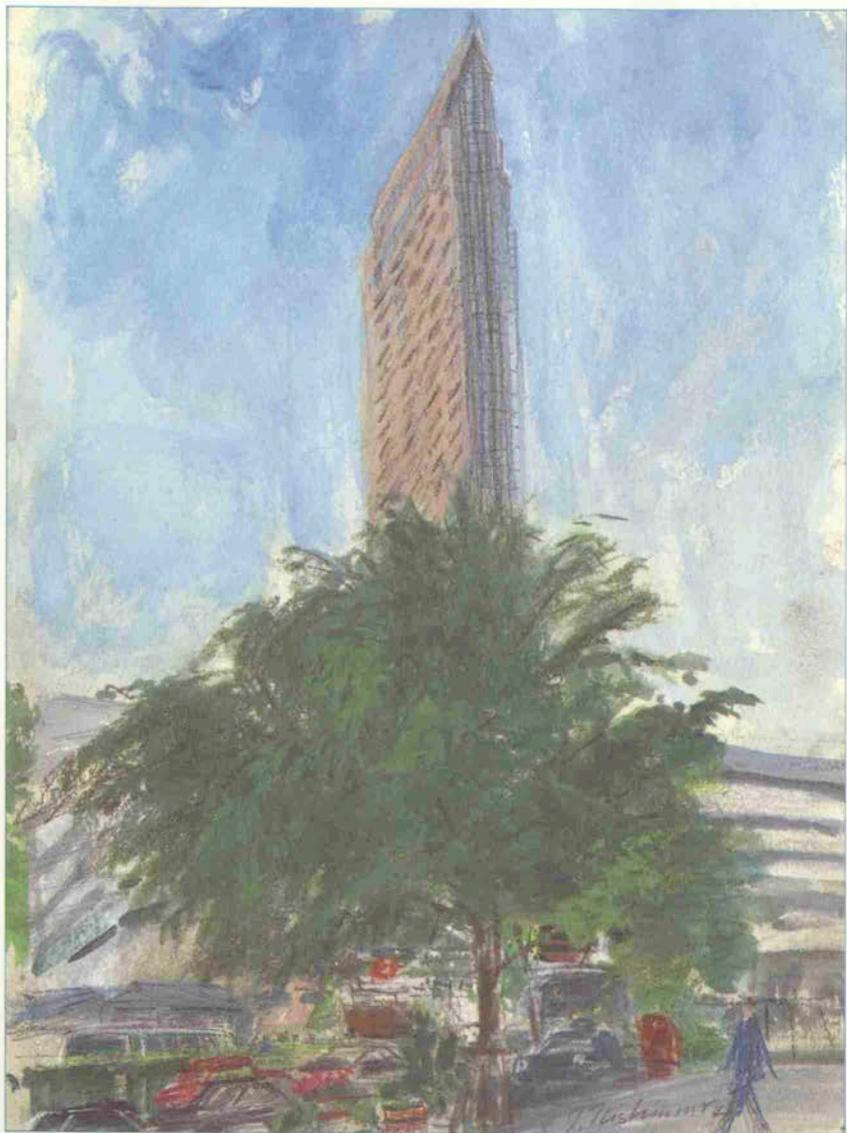
〒650 神戸市東灘区山手通1丁目1-1 北野南
TEL. 078-221-3120 10:00AM~5:00PM 無休
※V / 関 / 各 入館 / 心斎橋

▶オーダーサロンは⁹/₁₅~⁹/₁₆まで休ませて頂きます。

Second Cover ● 街の風景 (17)

新神戸オリエンタルホテル (1991年)

絵／西村 功



大磯<淡路島東部町>行の深夜便が
ぐ〜んと便利になりました。

これまでの六甲アイランド発大磯行の深夜便フェリーが、ハーバーランド(高浜岸壁)から出港。足の便がぐんとよくなりました。三宮で余裕をもって遊んでもOK。朝釣りなどにもご利用いただけます。



時刻表

大磯発	時	須磨港発	ハーバーランド発
0	00	40	
1			30
2			00 30
3			20 50
4			
5	20	50	
6	10	30	
7	00	15 40	
8	10	40	
9	25	40 55	
10	25	55	
11	10	40 55	
12	10	55	
13	10	25 55	
14	10	40	
15	10	25 40	
16	20	35 50	
17	20	35 55	
18	30	45	
19	00	35	
20	10	40 55	
21	15	50	
22	20	55	
23	10	30	

(注) 00はハーバーランド行

淡路フェリーボート

- 本社 〒654 神戸市須磨区外浜町4丁目 ☎神戸078(733)0001他
- 予約センター(お問合せ) 〒654 神戸市須磨区外浜町4丁目
- ☎神戸078(731)7421
- ハーバーランド営業所 〒650 神戸市中央区海岸通6丁目3-5
- ☎神戸078(360)3456-7
- 大磯営業所 〒656-23 津名郡東浦町小磯 ☎浦0799(74)3555

兵庫の芸術祭

大磯フェリーの須磨港に到着

燃え尽きた「ボレロ」の詩
日本舞踊とモダンバレエの対決!

若柳吉金吾の会

第5回リサイタル

平成3年9月28日(土)午後3時開演
神戸国際会館大ホール / 入場料5,000円

兵衛 奴道成寺 若柳 吉金吾

松 風若柳 吉美匠

ボレロ 高若瀬柳 浩吉金 幸吾

扇売 り若柳 吉

神 卯若柳 吉金吾

■主催 / 若柳吉金吾の会 ☎ 078(341)6832

■後援 / 兵庫県・兵庫県教育委員会・兵庫県文化協会・神戸市神戸市教育委員会・神戸市文化振興財団・神戸新聞社 兵庫県舞踊文化協会・月刊神戸っ子

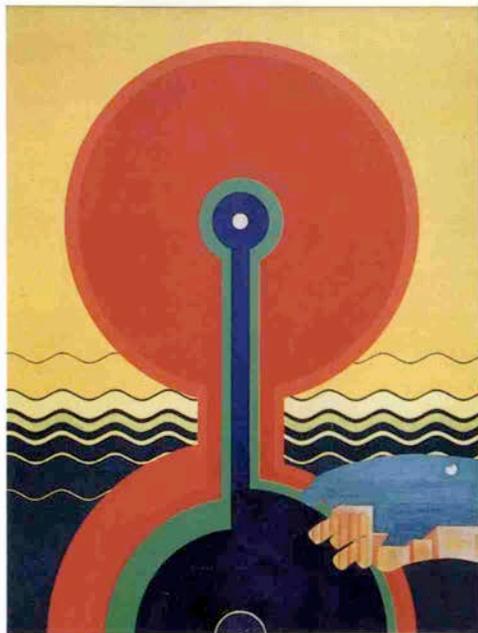
kansin street gallery 〈30〉



生田新道に面したストリートギャラリー

■新生“かんしん”は、企業理念も共感・対話・信頼をキーワードに、地域の人々と共感の輪が広がる「ときめきバンク」をめざして“豊かな暮らしの提案”と“地域文化の育成”を二大テーマとし、文化面にも貢献してゆきたいと念願しております。

本年の「かんしんストリートギャラリー」は、神戸二紀会の女流画家の方々に登場していただき、華やかな展開をくりひろげてゆきます。



梶 睦子〈画家〉

かじ・むつこ、神戸市在住。

物質と物質、感性と感性というように2つのものが向かい合えば、密接な新しい空間、あるいは関係が生じる。太陽の絶大なエネルギー、地球への恩敬、人間の太陽に対する憧憬、畏敬。

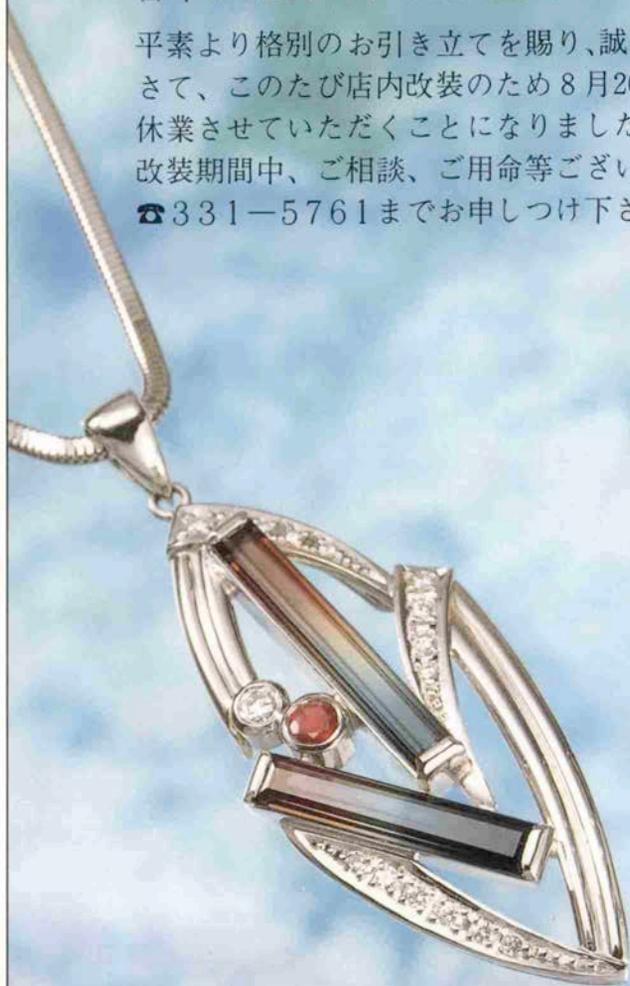
今回の作品は、太陽と地球を対峙させ、その関係を波動で表現した。

暑中お見舞い申し上げます

平素より格別のお引き立てを賜り、誠に有難うございます。
さて、このたび店内改装のため8月20日から9月30日まで
休業させていただくことになりました。

改装期間中、ご相談、ご用命等ございましたら、従来通り
☎331-5761までお申しつけ下さい。

店主敬白



Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5781代表

愛着のわく陶器を

金 正都 （陶芸作家 カメラ・松原卓也）

個展会場には、壺や食器など大小さまざまな陶器が並ぶ。美術品というだけでなく、むしろ毎日の暮らしに密着しているものだけに女性の興味は尽きない。

一見、しなやかで美しい曲線を描き、観る人、使う人を楽しませてくれる陶器だが、つくる人間の苦勞は計り知れないものがある。うわぐすりや粘土の調合、焼き方が少しでも変わると、出来具合は大きく変わる。それだけに「試みを続けて、思ったものが出来たときは本当にうれしい」。

元々画家を志望していたが、知人に誘われてろくろ教室に「なにげなく」通いはじめたのが十七、八年前。「土が自分の思うようにならないことが面白く、夢中になったという。「十年続けていたら、個展をしよう」と漠然と考えていたら実現した。

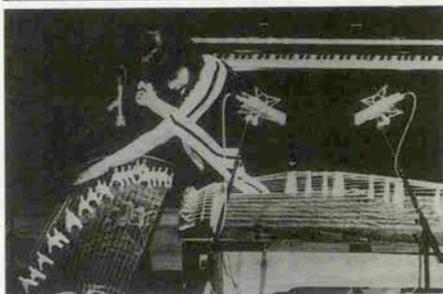
「面白いと思うあいだは、なんでもやりたい。自分がつまらなくなったら出来ません」
創作を続けてこれた理由はここにある。

「食器は使いやすい、壺は存在感が大切」、いずれにも共通することは「飽きがこず、愛着のわくものでなければ」と。出展する際、「見本をつくり自分で使ってから」という姿勢が、人に愛される陶器を生み出しているのだろう。

（ダイヤモンドギャラリーにて）



●イベント・インフォメーション●



▲沢井一恵

生田の森コンサート

「木——魂よせ」

沢井一恵 & サルドノ・クスモ
クロスカルチャーパフォーマンス

1991年9月22日(日)
開場6:00pm・開演7:00pm
会場/生田神社境内



▲サルドノ・クスモ

その昔、アメリカ原住民にとつて「木」とは自然の法則を意味するものであった。死者は木の下に葬られ、その魂は木に宿り成長しやがて森を作る。そして子孫の繁栄を静かに見守るので。

しかし、その木が倒され朽ちる時、自然の法則も崩れていく…。

——その自然を呼びおこそうとする試みが、来たる九月二十二日生田神社で行われる。生田神社といえは西宮神社、廣田神社と並び、古事記にも登場するという由緒ある神社。境内には樹令何百年というくすの木、椿、月桂樹、そして桜、榎、池のまわりの竹林などが静かに息づき、その魂は誰かが呼んでくれるのを待っている。

このパフォーマンス「木——魂よ

せ」を行うのは箏——一片の木に糸

を張っただけの楽器——を古典の枠にとられず、あらゆる方位にその可能性を確かめている沢井一恵さん。そして、伝統舞踊のみならず、創作舞踊にも力を入れ、タガス・グスン・ジャテイ歌舞団の「ドンゲン・ダリ・デイラ」や環境破壊を取り上げた創作シリーズなど、海外で高い評価を受けているインドネシアの世界的舞踊家サルドノ・W・クスモ氏。

空間を息づかせる十七絃の箏の音に目覚めた木々の魂が、サルドノ氏の舞踊と一体化して「生田の森」を吹き荒れる！

古典を極めるにつれて、さらに新しい自由な創作、演奏活動への意欲をかきたてられるという二人。

まさしく夢の共演だ。

世界を駆けめぐる両氏だけに出演依頼も難行したと思われるが、今回「生田の森コンサート」と銘打って、何と無料で公開される。ただし招待券が必要。招待券は、ナガサワ文具センター本店一Fカウンター（TEL3211-4500）東急ハンズ三宮店一Fインフォメーション（TEL3211-6161）で手に入る。

主催は、生田前筋商店街振興組合。このコンサートを開催するにあたり、クラシック・ジャズなども候補に挙がったが、一歩先に進んだ新しい試みが実現することとなった。神戸市民としてこのような文化的催事は何よりもうれしいのだ。開演が待たれる。

人に感銘を

上平田裕子(シャンソン)

・藤田 稔

ピアニスト

カメラ

米田定蔵

シャンソン歌手、上平田裕子さんと、ピアニスト藤田稔さんは、18年前、神戸のライブハウスで出会う。上平田さんは鹿児島生まれの鹿児島育ち。小学生の時に聞いたフランス人のシャンソン歌手、イベット・ジロのレコードが、もともと歌が好きだった上平田さんのシャンソン歌手になるきっかけとなる。神戸に来てからは、ジャズボーカリストの森哲也さんに師事する。

一方、藤田さんは大阪芸術大学時代、クラシックを勉強する。在学中にジャズ、シャンソンにも興味を持ち、ジャズピアニストとしては関西で第一人者である大塚善章さんにジャズ、ポピュラーを教わる。

二人の出会いから2年目の昭和50年12月18日、北野坂に上平田さんがシャンソンのお店「シャンゼリゼ」を開いた。以来、16年間に二人で演奏した数は数えきれない。「シャンソンは3分間のドラマ。歌う時に表現力、芝居心がとても大事。いろんな経験をすることによって味がでてきます。」と藤田さん。二人の息もびったりだ。

9月1日(日)、新神戸オリエンタル劇場でリサイタルが行なわれる。藤田さんのオリジナルで塩屋、舞子をイメージしたというシャンソン「愛のメロデー」や、1月の京都大学山岳隊の遭難事故で亡くなった方への追悼曲をはじめ、ハートのあふれるシャンソンを披露する。感動のあるステージが期待できそうだ。





山系の
保安林を
守る

ある集い■グループ・シオン

六甲山系の緑を守る 三枝美知代

グループ・シオン代表

摩耶山麓の静かな住宅地にある摩耶小学校のPTA仲間達で、婦人問題を勉強しようが集まった会です。男と女の能力に差はあるのか、「日本文教と女性」等、今思えば気恥ずかしくなるテーマもありましたが、あれから8年、私達グループ生は、しっかりと目をあけ耳をそばだて、灰色の脳細胞を働かせながら生きていこうと考えています。

今年度は、私達が毎日あおぎ見る美しい摩耶山の緑を守ろうと署名集めをしました。六甲山系の緑と保安林を守ろう」と10歳の中井元市長を柱に、池上弁護士が中心となって活動されているのを知り、地元の一員として協力させて頂きました。阪神大水害を二度と起こさないために、子々孫々のために、神戸の緑をなくさないために、思いをたくして全体で7万3千8百の署名が集まりました。皆様の熱意のお陰で国会請願が通り、市も保安林と市街化区域境界の地籍図の研究会を作り、本腰を入れて取り組んで下さっています。

会員数40名。グループ・シオンは「日本文化を考える」倉石先生、「お煎茶教室」入江先生他、中古衣類をアムネスティに寄付したりしています。

■問い合わせ

神戸市灘区天城通5丁目17

☎(078)801-7068

(三枝美知代)



ある集い ■ 神戸現代陶芸会

「やきもの」 との出会い

たとえば「二期一会」という言葉があります。ひとつの出会いが深い意味をもつとき、それは人の美意識をさえ鼓舞します。

「やきもの」も或いはそんな一会に似ているかもしれません。同じ人が同じ素材を使い、同じ窯で焼いても同じ作品は二個焼けない。

同じ様ではあっても同一ではない土、技、釉、そして委ねあずけるしかない火への願い。火の向う側で支配するものと、祈り待ちつづける自己との邂逅。数多く繰り返しながら、いつでもただ一個きりの創作。「やきもの」の面白味とは、つまりは出会いなのだと思えます。

神戸現代陶芸会は、老若男女会員数二百名余の大世帯です。にもかかわらず家族的で和気あふれる雰囲気のみちられているのは、主催する陶芸家、神戸焼・末汎窯窯元南汎氏（元舞子焼、平成二年度神戸市文化賞受賞）の豪胆で陽気な人柄によるものでしょう。

本年度の主な活動としては、春秋二回の登り窯焚き。好評裡に終えた五月の兵庫県陶芸館と三宮さんちかホールでの二つの展覧会。十二月に計画している窯元めぐりの研修旅行等です。勿論、会員各自が唯一美の「やきもの」との出会いを求めて日夜情熱的に作陶をつづけていることは当然です。

■事務局

神戸市西区押部谷町高和1557-1

市立農業公園陶芸館内

☎(078)99113911

暑中お見舞い申し上げます



シーズン当初の出遅れが響いて現在下位に甘んじているオリックス。しかし、ここへ来て地力を発揮し上位進出の機会をうかがっている。

神戸移転、土井監督1年目と今までと異なった条件の中で頑張っているオリックスだが、夏の上昇気流に乗り、秋には混パの台風の目と呼ばれるようになって欲しいものだ。

さてグリーンスタジアム神戸では、8月、9月と各10試合（予備日除く）のオリックス戦が組まれているが、9月26日まではいずれもナイターである。夏の暑さを吹き飛ばすようなガッツあふれるプレーを期待している。

8月のグリーンスタジアム神戸では、以下の13カード（いずれも18時試合開始）が組まれています。

6日	オリックス	V	S	ロッテ
7日	オリックス	V	S	ロッテ
9日	オリックス	V	S	西武
10日	オリックス	V	S	西武
11日	オリックス	V	S	西武
13日	オリックス	V	S	ダイエー
14日	オリックス	V	S	ダイエー
15日	オリックス	V	S	ダイエー
17日	阪神	V	S	広島
18日	阪神	V	S	広島
27日	オリックス	V	S	ロッテ
28日	オリックス	V	S	ロッテ
29日	オリックス	V	S	ロッテ（予備日）

市営地下鉄総合運動公園駅前

グリーンスタジアム神戸

Debut



AKIKO, WATANABE
渡辺彰子さん



YUKIKO, KAWASHIMA
川島由起子さん



YOSHIKA, KITANAMI

北浪良佳さん

— 代表クイーン —



SAORI, NISHINO

西野さおりさん



YUKIKO, YUMIKURA

円倉由起子さん

KOBE SEA QUEEN

国際都市アピールへ '91コーベシークイーン決まる

●コウベスナップ

神戸ワインの発展を祈り 「バッカスとアリアンナ像除幕式」

「'91こうべシークイーン」が決まった。108名の応募者の中から選ばれた国際港都神戸のイメージに似合う“民間親善大使”は19歳～23歳のさわやかな女性5名。'91年7月20日～'92年7月19日の1年間、海の記念行事や国際交流、各種イベントなどのコミュニティとして活動する。

開園以来7年目を迎えた神戸市立農業公園で、「バッカスとアリアンナ」像の除幕式が行われた。神戸ワインの発展、ぶどうの生産拡大、同園の彌栄の願いを込め、古代ギリシャ・ローマにおいて「ぶどうの神・酒の神」として崇拝されているバッカスと、その妻アリアンナの像が設置されることになった。

バッカスとアリアンナ像の前で記念撮影



除幕の風景



像の作者・新谷環秀紀氏





南 汎と

“古く新しき”神戸焼

赤根和生

美術評論家

「まず陶器はすべての芸術のなかで、もつとも単純であると同時に、もつとも難解である……」と名著『芸術の意味』のなかで述べた、イギリスの美術評論家故ハーバード・リードが、もし、多様多彩、簡素、洒脱にして雄弁、温かく親しみぶかい南 汎の芸域に触れたらこれらの言を撤回したにちがいない。大皿、大鉢、大壺から花器、茶器、徳利、茶碗、中鉢、銘々皿など日常雑貨に至るまで、奇を衒わず滋味あふれるそれらは愛撫をそそらずにはおかない。何よりも、素早い筆勢が生きる絵はその絶妙な味わいは眼を見はらせる。

それもそのはず、「工」に魅せられて「へやきもの」の世界に踏み込む以前は南画家として人を教えるもしていた腕前、瞬時の筆力を器形の制約のうちに収める緊張感がたまらないのだろう。そういえば、「梅雨どきの紫陽花がとりわけ好き」という南は、ちょうど原稿執筆の梅雨期のさなか、絵かき魂を触発された南は画布ならぬ大皿にむかって限られた花のいのちに自らを同化させつつ絵筆をとっているのでもあろうか。

舞子焼には松並木、帆かけ舟がふさわしく、牛、ワインとともに三名物の一つとなった神戸焼には、葡萄酒がびつたりだが事実、農業公園内のワイン城レストランで出てくる食器類はすべて、南 汎作の神戸焼末汎窯製である。古舞子焼の「古淡な素朴さ」に惹かれてその再興に情熱をかたむけてきた南における舞子焼は、実質的に神戸焼に発展的解消を遂げ、その内、実はより広き神戸焼の中に生きようとしている。恵まれた環境のなか新しき伝統創造の足どりは軽やかである。

